

# 城 町 を 語 る う

～11月8日に町民と議員との意見交換会を開催しました～

## 各担当班のテーマ

班の構成 (◎は班長、○は副班長)

総務産業	「人口減少」 「公共施設」	◎ 大日向進也 ○ 山城 峻一	滝沢 幸映 大森 茂彦	祢津 明子 中村 忠靖	宮入 健誠
社会文教	「防 災」 「福 祉」	◎ 玉川 清史 ○ 水出 康成	中嶋 登 朝倉 国勝	星 哲夫 塚田 舞	

議会では、8月の1か月間、意見交換会の課題について、パブリックコメントを実施しました。

その回答の中から、総務産業常任委員会では「人口減少」「公共施設」、社会文教常任委員会では「防災」「福祉」にテーマを定め、11月8日(金)に、これからの坂城町を語ろうと町民と議員との意見交換会を開催しました。

中心市街地コミュニティセンターで合計20人の皆さんにご参加いただき、テーマに沿って、ワークショップ形式で行いました。

今後、皆さんから出された意見・提案をもとに、各常任委員会で調査・研究を行い、町政に活かしてまいります。皆さんから出された主な意見・提案を掲載します。



### 総務産業常任委員会

#### 《人口減少について》

全国的にも人口減少が続いている中、減少幅を小さくすることが課題となっている。

○人口減少から増加に転じることは現実的には難しいと思われる。

○減少する中での施策を考えるべき。

○都会からの移住者を増やす。(もっとPRをすべき。)

#### 《公共施設について》

町の公共施設を総合的、また計画的に管理していくことが課題となっている。

#### 「小学校」

○小学校の空き教室を災害時に避難所として考えては。

#### 「複合施設」

○総合センター(物品を入れる倉庫などは可動式の棚を設置し、災害時などに工夫が必要)

○新複合施設の建設委員会についての情報がホームページではほとんど見られない。

#### 「管理」

○公共施設(湯さん館)も年齢別に料金を決めたらどうか？

#### 「その他」

○住みやすい町にするには  
①買い物が出来るところがある。

# これからの坂

- ② 病院・医療福祉施設がある。
- ③ 子育てしやすい環境がある。
- ④ より良い住環境コミュニティがある。
- ⑤ 交通手段の選択があること。

- 災害対策を考えるべき。(町の拠点のあり方。小学校の空き部屋の考え、小学校の統廃合は反対、体験ハウスのあり方。)
- 「あいさい」の品ぞろえを増やして欲しい。(野菜・果物・お菓子など)
- 道路も公共施設と考えれば道路の維持管理が不足。(予算がないのか、路肩の清掃、草刈り、植栽の選定など)

## 社会文教常任委員会

### 《防災について》

昨今、地震や台風などの自然災害が全国で頻発する中、坂城町においても防災対策が重要なテーマとなっている。

### 「ペット同行避難」

○ 本年初めて取り扱われたことは良かったが、避難場所や方法の明確化が必要。

○ 能登半島地震の際も問題提起されていたが、ペットが苦手な方への配慮や、さらなる改善が求められる。

### 「避難所機能」

○ 避難所の迅速な機能確保や、災害発生場所の把握方法、安全の向上が必要。

○ 災害時の住民自身のリスク管理の必要性。

### 「支援体制」

○ 町の備蓄に頼るだけでなく、個人の防災対策の啓発をしてほしい。

○ 支援が必要な方への具体的なサポート体制。

○ 高齢者の多い町の特性を踏まえ、福祉避難所の設置が必要。

### 「施設・消防」

○ マンホールトイレの衛生状況や、災害時のト

イレ環境の改善、婦人消防の活動の見直しと機能改善が必要。

### 《福祉について》

高齡化や多様化する生活環境の中で、坂城町における福祉の充実は、ますます重要な課題となっている。

### 「要支援者支援」

○ 支援が必要な方が自ら発信することが難しいため、町として支援対象者を見つけ出す仕組みづくりが必要。

また、地域で高齢者世帯や一人暮らしの方を支える共通理解を深めることが重要。

○ 安心して暮らせるコミュニティの形成を進めてほしい。

○ デイサービスの受け皿が不足の改善など。

### 「子育て支援」

○ 事情がある母子家庭への衣食住の支援強化。

○ 「坂城の子は坂城で育

てる」というスローガンに基づき、私立に通う子どもも含めて全ての子どもに平等に給食費・副食費の無償化を適用してほしい。

### 「移住支援」

○ シングルマザーやDV被害者への支援措置や住宅補助支援金の支給、町営住宅の家賃引き下げを検討してほしい。

### 「交通手段」

○ 高齢者や免許返納者、障がい者の外出支援のため、循環バスなど交通手段の改善。

○ 複合施設周辺のインフラ整備を進め、利用対象者の範囲を明確にしてほしい。

○ 「どこでものれーる」は、現状を踏まえ、予算の再配分を求める。



今回の意見交換会は、集計したアンケートからは、概ね好評であった。「議員と町民が対等に話し合える場で良かった」「意見を言う機会ができて貴重な機会となった」との半面、「意見を述べる時間を決めてほしい」「もう少し発言の時間がほしい」「論点を絞って、もっと時間を取るべき」等の意見もあり、今後の参考にしたい。